

ジーエルサイエンス株式会社 平成18年3月期 決算説明会

営業本部

第39期(平成18年3月期)上期の分析機器事業部門の当初売上計画は6,371,000千円(63億7千万円)であり、実績は5,643,411千円(海外部含む)となり計画達成率は88.6%でした。また、売上総利益は2,078,970千円で計画達成率は97.3%、営業利益は537,350千円で計画達成率109.7%となりました。

1. 第39期売上計画・利益計画達成概況について

・ 環境プロジェクトX 継続プロモーション・受注の成果

平成15年5月交付、16年4月施行、厚生労働省令第百一号「水道水質基準に関する改定」に関連して、前期に引き続き継続的な受注に成功し販売台数は減少するものの、目標台数は達成しております。(AQUA PT 5000J/AQUAauto70 33台販売 計画到達率47.1%、アクアトレース ASPE699 34台販売 計画到達率75.6% 当該製品分類販売総額478,694千円) 売上構成比8.5%

・ 当社最優良利益製品群の安定的販売 イナートファミリー

当社のオリジナル開発製品群のブランド製品である、イナートファミリーと称される液クロ分離カラムイナートシル、ガスクロ分離カラムイナートキャップ、試料前処理製品イナートセップの普及浸透 当該製品分類販売総額1,210,313千円 前期比4.7%UP 売上構成比21.4%

・ 上記外、当社自社製造装置の苦戦

ガスクロマトグラフ(前期比0.9%UP) GC周辺装置(前期比0.7%DOWN) 自社LC装置群(前期比54.4%DOWN) システム装置関連(前期比21.1%UP) 合計販売総額約437,093千円 売上構成比7.7%

2. 第39期主力製品群の動向

《高利益付加価値製品群》

当社が世界に誇る“イナートファミリー”

LC(液体クロマトグラフ)充填剤 **イナートシル**、GC(ガスクロマトグラフ)キャピラリーカラム **イナートキャップ**、
試料濃縮用固相カートリッジ **イナートセップ**

第37期にラインナップが完成した高付加価値製品群のイナートファミリーが順調にその生産、販売高を伸ばしております。これらの製品群は当社の登録商標である「イナート」のイメージを継承発展させ、既に国外でも一定のシェアを有するイナートシルに次ぐ大きな柱に育て上げてまいります。

先行製品となります**イナートシル**は国外対国内の販売数割合が70:30となっており圧倒的に海外での販売数が国内を上回り、当社が世界に誇れる代表的な製品となっております。第39期上期実績は国外国内それぞれ前年度比**21.1**、**10.4**%の販売増となっており、39期下期も引き続き強力な年間プロモーションを実施してまいります。

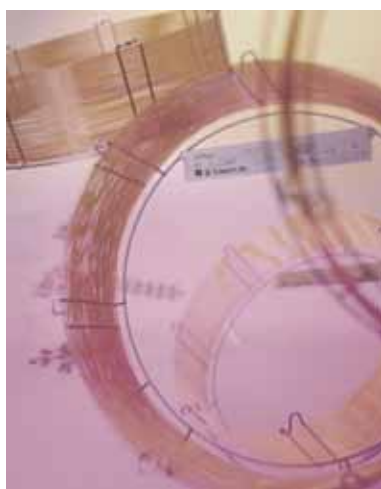
イナートキャップはGCキャピラリーカラムとしては唯一国産化に成功し、当社創業以来圧倒的な高シェアを維持してまいりましたガスクロマトグラフ使用消耗品に、全くの新風を吹き込み、停滞気味の同市場に活性を促す絶好のアイテムと言えます。39期は製品ラインナップの充実、海外市場への再アタック等にて上昇傾向を目指し上期実績として前期比10.8%の販売増となりました。

試料前処理固相カートリッジの中で当社オリジナル製品の**イナートセップ**は前期の好調を維持し、継続的な販売に成功し第39期上期実績として前期比3.5%増の販売となっております。背景には、前述の厚生労働省令第百一号「水道水質基準に関する改定」があり、その分析法改定をターゲットに細心のアプローチを実施してきた環境プロジェクトX活動が奏功したといえます。この勢いは継続するものと思われ、39期下期もブランド浸透も含め、重要な主力製品となっていきます。

イナートファミリー



INERTSIL®



INERTCAP™



INERTSEP™

《環境プロジェクトX主導による重要アイテム》

新水質基準施行に準拠した水質 VOC(揮発性有機化合物)・かび臭気分析用試料濃縮導入装置

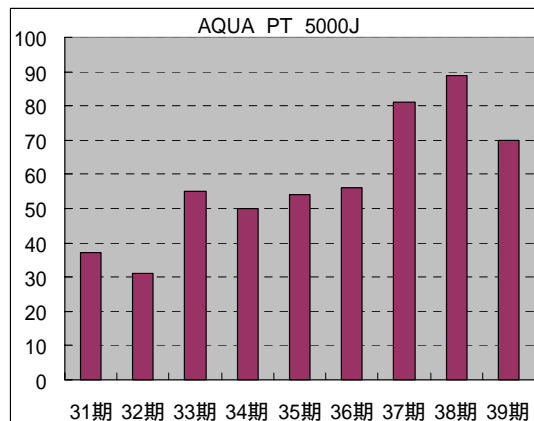
AQUA PT 5000J

AQUA PT 5000J及びオートサンプラーは水質分析システム装置の前処理装置として最大需要期は過ぎたとはいえ、安定的な販売貢献の期待が大きい我が社随一のヒット製品となっております。39期上期においては販売台数においては前期同時期比にて減少しておりますが、ほぼ目標台数通りに推移しております。(平均販売価格 ¥5,500,000)

39期通期においてはここ2カ年の勢いは沈静化しますが、通常年度の40%アップの70台(販売総額 ¥445,000千円)を計画し、拡販していきます。



AQUA PT 5000J + AQUAauto70



AQUA PT 5000J 年度別販売台数グラフ
39期は計画値

新水質基準施行に準拠した固相自動抽出装置 アクアトレース 699

前述装置同様 2004.4.1 施行の新水質基準において、農薬を中心に固相前処理装置として第37期 38期と驚異的な伸びを示し年間最大ヒット製品と言っても過言とはいえない当社オリジナル最重要アイテムとなりました。

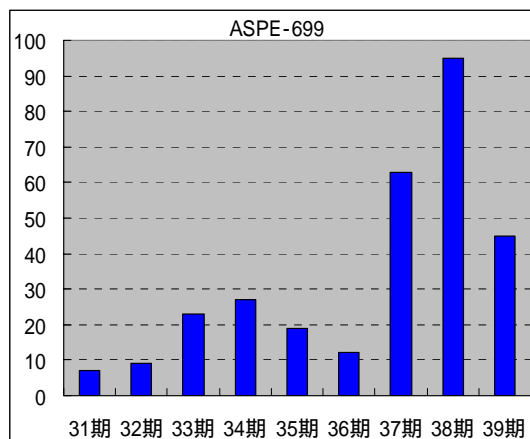
39期上期時点での実績が34台となり順調に販売台数を伸ばしております。

(平均販売価格 ¥4,400,000)

39期通期にて、通常年度のほぼ4倍程度の45台を計画しており、計画台数の大幅な達成が見込まれています。今後の営業展開としては導入先送りユーザー、リピートユーザーへの攻略が不可欠となります。



アクアトレース ASPE-699



アクアトレース年度別販売台数グラフ
39期は計画値

室内大気(シックハウス症候群成分)捕集用 SP208 シリーズ

上梓以来5年目の当期は、前期リリースの新型 10L ポンプの新規展開、タイアップ品の AERO(アィ)カートリッジなど話題性・優位性は豊富で、室内大気試料採取だけではなく、他の大気試料採取に大いに貢献でき、当期も堅実な販売に期待が持てます。

第39期販売計画台数は市場の動向を鑑み堅実な数字の200台とし、大気分析市場にアプローチしていき、十分に計画達成するものと思われれます。

上期実績は88台と堅調に推移し、下期12月リリースの同機シリーズの大型(30L)ポンプと合わせ計画台数の達成を狙います。(平均販売価格¥250,000)

室内大気捕集用 SP208 シリーズ



SP208-1000



SP208LV-30L

《バイオプロジェクト関連製品の動向》

試料前処理ロボット MICROLAB(ハミルトン社)

第38期実績は5台の数字となり37期実績とほぼ同数となっています。ただ計画台数は10台としており、同製品の国内総販売代理店としてまたバイオ市場への重要な販売アイテムとしては未達成感が残り、第39期の巻き返しに大きな期待を寄せております。

第39期販売計画台数は有力な商談の多さから15台としており、バイオ関連市場への主力製品に相応する実績を目指しております。

上期実績は4台にとどまっていますが、当期販売に貢献できる有力な商談が6~7件進行中でリリース以来最大の販売高となる可能性が十分にあります。

(平均販売価格¥15,000,000)



MICROLAB STAR



Dynamic Positioning System(DPS)

オンライン固相抽出装置 SYMBIOSIS(シムバイオシス)

従来機のプロスペクトより、第37期において新型装置 SYMBIOSIS(シムバイオシス)となり、新型2年目の販売活動を展開してまいりました。

38期に続き39期においても本来のバイオ向けに加え、環境用システムにおいては前記しました2004水質基準改定施行も追い風となり引合い数が徐々に増えてきており、第39期計画台数の10台達成の具体的プロモーションが展開されております。上期実績は1台にとどまりましたが、下期においてはバイオ、環境ユーザー共に、コラボレーション機器としてのLC/MSMSとのジョイントも進め、活発な営業展開を実施し、商談成立に向け積極的なアプローチを行います。(平均販売価格¥6,000,000)



SYMBIOSIS(シムバイオシス)環境向け



SYMBIOSIS(シムバイオシス)医薬向け

キャピラリーLC用微量流量送液ポンプおよびキャピラリーHPLC(高性能液体クロマトグラフ)

キャピラリーLC用微量流量送液ポンプ MP710、MP711 は、第 38 期計画台数は 25 台でしたが、年間実績はキャピラリーHPLC との合算にて 15 台にとどまりました。

(平均販売価格 ¥1,800,000)

第 39 期は、このポンプを中心にセットアップしたポストゲノム研究分野におけるタンパク質解析、アミノ酸分析等に有用なキャピラリーHPLC(ハイパフォーマンス液体クロマトグラフ)AccuStream(アキュストリーム)装置の拡販を推進し、ポンプ台数として 30 台の計画台数といたしました。本装置は待望久しいバイオ市場向け純粋自社製造装置となりますので積極的に販売プロモーションを実施し、計画達成を目指します。

(平均アキュストリームシステム販売価格 ¥14,000,000)



キャピラリー HPLC システム



微量流量ポンプ

キャピラリーHPLC(ハイパフォーマンス液体クロマトグラフ)AccuStream(アキュストリーム)の特徴

- ・ 汎用 HPLC(溶媒流量 1ml/min 程度)に比べ溶媒使用量が 1/50 ~ 1/100 程度と少なく、安全性・経済性に優れております。
- ・ キャピラリー(毛細管)分離カラムを使用することで高分離が可能となり、微量分析に最適。

《第39期期首からの主力製品群》

新型ガスクロマトグラフ、新型液体クロマトグラフ

新型ガスクロマトグラフ GC-4000 シリーズ及び新型液体クロマトグラフ GL-7400 シリーズがそろって38期下期から発売開始となりました。いずれも当社の開発製品群の中で根幹となる製品でありますので39期の拡販に大きな期待が寄せられております。

それぞれ、計画台数を230台、150台と設定し、計画達成をめざし全国の営業の総力結集をすすめてまいります。

上期実績はそれぞれ57台、54台とやや苦戦しておりますが、当社分析装置のベース装置となりますので下期の追い込みを期待し計画達成にチャレンジしていきます。



GC-4000 シリーズ



GL-7400 シリーズ

トランスPCB用自動クリーンアップ装置 PAC 795・795M

平成13年にPCB特措法が施行され、PCB廃棄物の期間内処理義務（平成28年7月まで）が保管事業者に課せられました。合わせて拠点施設の整備及び処理事業の実施、中小企業の処理費用負担軽減のための基金など全国的な処理体制構築が進んでおります。

全国の事業者に保管された膨大な大小変圧器（トランス）、コンデンサー類の中に含まれるPCB測定用の試料前処理装置として、トランスPCB用自動クリーンアップ装置を39期計画台数を10台とし、年間プロモーションを展開しております。（平均販売価格¥5,000,000）



トランスPCB用自動クリーンアップ装置 PAC 795

《第39期下期リリースの製品群》

残留農薬GPCクリーンアップシステム G-PREP GPC 8100

平成18年度より実施される食品衛生法ポジティブリスト制に完全対応し、食品中の残留農薬分析の試料前処理装置として高い能力を発揮します。ポジティブリスト制導入前の装置整備に向けて活発な商談が展開されており、当期中には10台程度の販売を目指しております。

(平均販売価格 ¥5,000,000)

固相溶出送液装置 G-PREP Elute 8060

固相カートリッジを用いた試料前処理において、溶出操作の送液スピードは非常に重要な要素となります。また、溶出操作時の人為的ミスを少なくし、作業効率を向上させるうえでG-PREP Elute 8060が大変便利に活用できます。当下期の販売にて20台を見込みます。

(平均販売価格 ¥700,000)



G-PREP GPC 8100



G-PREP Elute 8060

多検体用加熱脱着装置 T-Dex

GC、GC/MSの気体試料導入装置として、低沸点成分から高沸点成分までの幅広い分野で性能を発揮する、多検体用加熱脱着装置がいよいよ登場します。当期12月からの発売にて期中のプロモーションを実施し、来期以降の販売につなげていきます。

(平均販売価格 ¥7,000,000)



T-Dex II

以上